

神奈川県立岸根高等学校 令和4年度 第2回学校運営協議会 議事録

・令和4年11月24日(木) 16:00～ 岸根高校会議室

・出席者：学校運営協議会委員・・・長島 由佳様(すこやかサークル会長)、金子 博美様(篠原西小学校)
三田 敏幸様(岸根町内会会長) 大西 勝也様(神奈川大学人間科学部教授)、
山本 真也様(岸根高校PTA会長)、平 容久(岸根高校学校長)
職員・・・長澤 利恵子(副校長)、井浦 洋(教頭)、久保 裕紀(カリキュラムG総括)
松井 浩気(キャリア支援G総括)、上前 理香子(サポートG総括)
宮崎 朋幸(生活支援G総括)、尾崎 明美(地域連携協働G総括)
川崎 陽香(学校管理運営G総括) ※G = グループ

I 校長より 挨拶

II 会長より・・・好天の中、40年目の節目を迎えられたことを心から祝いたい。生徒作成の動画がほほえましく、楽しませてもらったことを、ぜひ、生徒にも伝えてほしい。この中間報告会が今後の岸根に生かされることを願っている。

III 報告事項

①令和4年度学校評価中間報告・・・各G.総括より説明あり

②令和4年度第1回生徒による授業評価結果について(カリキュラムG 久保)

「事前にF委員から「授業評価結果を見た感想として、授業の「ねらい」と「振り返り」を毎時間取り入れてはどうか？」との提言があったことが披露される。
毎時間、授業の最後に目標を達成できたか振り返りを行っている教員もいることを紹介。」

③令和4年度第1回学校生活に関するアンケート集計結果について(生活支援G 宮崎)

④アドミッション・ポリシーについて

①～④について、副校長より説明あり・・・承認

IV 意見交換

Q1:(A委員) 授業アンケートの回答率はどのくらいか?また、学校生活アンケートの回収率も教えて欲しい。

A1: 授業アンケートは、学年の中で280/320人程度。生活アンケートについては、ほぼ100%回収。

Q2:(A委員) 授業評価のグラフで、「学習のねらい」に関する質問の値が最も低い、生徒が知的好奇心をかきたてられるように、目的を明確に示すと良いのでは?

A2: 管理職による授業観察では、「本日のねらい」を示すように全教員に求めている。

B委員: 小学校では、「学習のねらい」をはっきり示してから授業を始めている。

C委員: 大学でも「学習の見える化」の一環として、ねらいを示すことが最近の傾向としてある。

Q3: (C 委員) 生活アンケートで悩みがあると判断した場合は、すぐに対応する点が素晴らしい。
一方でマスクについての悩みが多いように思われるが、どのように考えているのか。

A3: 教室での授業は「密」の状態にあり、現状では必ずマスクを着用させている。唯一はずせるのは体育の時だけ。マスクで100%感染を防止できないことは承知しているが、「外したければ外して良い」という状況ではないと考えている。

Q4: (A 委員) google form でのアンケート回答は、設問と回答に齟齬があつたりしないのか。

A4: 各教科のアンケートを同時に取ったため、同じ数字をずっと回答した者がいる可能性はある。

D 委員: コロナの影響でケアプラザの数少ないイベントに、岸根高校が参加してくれて嬉しく思っている。今後もできることを少しずつ進め、続けていきたい。

Q5: (B 委員) アンケートの自由記述は、小学生との違いを感じる。小学生の場合は、まず悩みを細かく聞いて掘り下げる必要がある。高校では「つぶやき」のようなコメントを拾って載せており、とても良いと思う。

その上で、悩みを拾った時に、先生方がどのように対応しているのか伺いたい。

A5: 緊急性があると思われる場合は個別に事情を聴くなどするが、その他は日常的な学校生活の中で生徒の個性に合わせて声掛けなどを行っている。ただし、「いじめ」に関しては、すぐに対応してもらっている。

E 委員 アンケート最後の「つぶやき」の内容が様々だなあと感じた。人権に関わる活動の中で、「何かあった時の連絡先カード」配付を行っている。意外と子供たちの心の支えになる可能性があるので参考にしてほしい。また、生徒には「つぶやいてくれてありがとう」と伝えてあげてほしい。

Q6: (E 委員) 入部率 63%に対する対策、校則指導に対する反発などがないか伺いたい。

A6: 4月は仮入部期間に複数の部活を体験できるようにし、9月には「部活入部再チャレンジ」を呼びかけるなどの工夫を行っている。校則については、疑問を持っている生徒がいることは把握している。生徒会新聞を発行するなど、生徒の新たな動きもある。

Q7: (A 委員) 校則について、「校則と生徒会」の位置関係を伺いたい。

A7: 生徒会新聞の他に、もっと多くの生徒の意見をくみ上げられるよう生徒会規約を改正しようという動きもある。生徒会規約改正は生徒の意向も必要だが、最終的には職員の決定が必要となる。校則については、今の内容を変える予定は無い。地域の皆様から愛され応援される岸根高校をめざしたい。生徒に岸高生であることを誇りに思ってもらいたい。

E 委員: 教員と生徒とのコンセンサスが得られていて、信頼関係が築けているのを感じる。今後も子どもの思いを受けとめながら、大人の願いを伝えていってほしい。

以上